



中田小

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

平成27年6月30日

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>



いのちの大切さ

副校長 今野 敏晴

『シャボン玉』

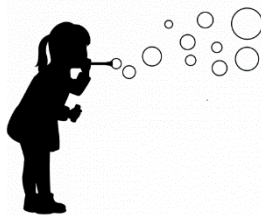
作詞 野口雨情

作曲 中山晋平

シャボン玉飛んだ
屋根まで飛んだ
屋根まで飛んで
こわれて消えた

シャボン玉消えた
飛ばずに消えた
生まれてすぐに
こわれて消えた

風 風 吹くな
シャボン玉飛ばそ



「シャボン玉」、この歌は、「命の歌」とも言われています。作詞したのは、「七つの子」「赤い靴」など、今でも歌い継がれている童謡を数多く作った野口雨情さん。待望の長女が産まれて7日目に亡くした時の悲しみを詩にしました。今年度が始まり3か月がたったこの時期にもう一度「いのちの大切さ」を見つめてほしいと6月の最後の朝会で紹介しました。

この歌を通し、「『いのち』は、目に見えないけれど、一人ひとりに必ずあること」「『いのち』は幾世代もつながっていて、かけがえのない大切なものでいろいろな人に支えられていること」「『自分自身のいのち』を大切にすると同じように『他の人のいのち』も大切にしてほしいこと」を伝えました。

今週は、各クラスの目標に照らして次のことを各クラスで話し合ってもらうことになっています。

- 自分が痛いことは他の人も痛いこと
- 自分がしていやだと思ふことは、他の人も嫌であること
- 自分がしてほしくないことは、他の人もしてほしくないこと

6月は、「いのち」について考える機会が多くありました。

本校の国際理解教室の講師ディポック先生の母国で4月にネパール大地震があり、多くの尊い命が失われました。行方不明の方もまだ多くいらしたり、仮設のテントで大変な日々を過ごされていたり、ニュースを見るたびに心が痛みます。「支援によって、人々が生きる希望を見いだすことが、自分の大きな喜びとなる」とディポック先生も支援活動に携わっています。7月4日には、チャリティコンサートが金沢白百合幼稚園で開かれるそうです。亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復興をお祈りいたします。

防災・安全に関わる行事も実施されました。1年・3年生を対象として実施した交通安全教室では、道路の安全な通行の仕方や自転車の通行ルールや正しい乗り方等を教えていただきました。体験型防災教室では、中田消防出張所を始め、消防団、地域防災拠点運営委員の皆様の指導のもと、起震車体験や水消火器や煙体験、防災備蓄庫の見学など有意義な体験学習を行うことができました。また、スクールゾーン対策協議会では、区役所や警察署、土木事務所、自治会・町内会代表の方にお集まりいただき、PTA 校外委員さんが事前に調べた通学路にかかわる改善事項に対して真摯に協議され、通学路の安全な環境づくりを進めることができました。

日頃より、児童の見守り活動にご協力いただいている方々、今回ご参加いただいた関係諸機関・地域の皆様方に改めて感謝申し上げます。

私たちの「いのち」は、奇跡の中で誕生し、たくさんの方々の支えによってはぐくまれてきています。生命あるものすべてに感謝の心や思いやりの心を育み、より深く自己を見つめながら、人間としての在り方や生き方の自覚を深めていけるよう、また、自分のいのちをしっかり守れるよう心の教育を推進し、安全意識を高めていきたいと考えています。

ご家庭や地域でのいのちの尊さや生きることの喜びについてお子さんとともにお話されたり、一緒になって考えたりする一つのきっかけになれば幸いです。今後とも地域の皆様、保護者の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。